議案 1

令和３年度　長野市緑と花いっぱいの会事業報告書

（事業年度:令和3年4月1日～令和4年3月31日）

1. 会議等

１）４月８日（木） 役員会	書面決議にて実施 ・総会の開催および議案について
２）４月１５日(木) 定期総会	協議事項 ・令和２年度事業報告及び収支決算について ・令和３年度事業計画(案)及び収支予算(案)について ・役員改選について
３）隔月実施 企画委員会	5月11日,11月9日の２回開催　(9月6日,3月8日は中止) ・秋苗と春苗の選定、行事企画運営等の意見交換

※見学会等の行事は、新型コロナウィルス感染防止の観点から中止とした。

２. 普及啓発事業

・「ボランティアかわらばん」への寄稿と活動紹介の掲載

『ながのボランティアかわらばん　7月号』(長野市ボランティアセンター内　ながのボランティアかわらばん編集委員会）に、本会の活動紹介（寄稿）と会員等の活動紹介が掲載された。

・「ゼロカーボン長野プログラム」との連携活動

7月23日～8月9日まで、ＮＰＯ法人ＣＯ２バンク推進機構の主催する「ゼロカーボン長野プログラム」グリーンインフラ体験コーナー（長野駅善光寺口駅前広場）の維持管理に協力した。この活動は、長野県の地域発元気づくり支援金を活用し、芝生や樹木といった緑が市街地の環境改善に役立つことを実証実験する目的で実施された。

・郵政創業１５０周年記念植樹

11月18日（木)、郵政創業150年を記念し、郵便局の木・はがきの木として知られるタラヨウを日本郵便株式会社信越支社に寄贈し、支社敷地内で植樹式が開催された。このタラヨウの木は、郵政公社からの移行を記念した小さな苗木を本会浅野会長が育てたもの。本会を代表し、浅野会長が式に臨席し、記念植樹を行った。

・「全日本花いっぱいだより」への寄稿と活動紹介の掲載

『全日本花いっぱいだより　第５１号』(全日本花いっぱい連盟事務局，令和３年 12 月発行）に、善光寺御開帳に向けて関心が高まっている本会の活動紹介（寄稿）が掲載された。

３．緑化推進事業

（１）花苗育苗作業（ながの緑育協会事業との連携）

４月２１日(水)～　４月２３日(金)	春苗	鉢上げ作業	16,680pot
４月２３日(金)～　５月１８日(火)	春苗	水やり作業	
５月１９日(水)～　５月２１日(金)	春苗	配布	13,421pot
９月１５日(水)～　９月１７日(金)	秋苗	鉢上げ作業	13,600pot
９月１７日(金)～１０月１９日(火)	秋苗	水やり作業	
１０月２０日(水)～１０月２２日(金)	秋苗	配布　ハボタン委託販売	12,658pot

（参考）

・「ボランティアかわらばん」７月号

7月　2021年　No.457

編集発行 ながのボランティアかわらばん編集委員会
【発行所】〒380-0813 長野市大字鶴賀緑町1714-5
長野市ボランティアセンター内
TEL 026-227-3707 FAX 026-224-1513
mail vc@csw-naganocity.or.jp

ボランティアかわらばん

花とみどりを育て　地域づくり

花やみどりが美しい季節になりました。地域には、花とみどりを育て、「地域づくり」に貢献されている個人・グループ・団体・企業の皆さんがいらっしゃいます。

その中で、今回は、「長野市緑と花いっぱいの会」と所属する3会員、及び「園芸福祉ボランティア　マーガレット」の皆さんの、活動と取組への“思い”を特集しました。

「長野市緑と花いっぱいの会」　篠ノ井中央公園　宿根草モデルガーデンづくり

事務局長の宮入賢一郎さんにお聞きしました。

長野市緑と花いっぱいの会

活動は今年で40年に

花とみどりを育てることで、生活にうるおいとやすらぎのある明るい社会づくりを目指して、市内の緑と花を愛好するグループが、昭和57年に設立したのが「長野市緑と花いっぱいの会」です。活動は、今年で40年になります。

花を通じ、人々の気持ちを豊かにし、「社会を美しく、明るく、住みよくする」活動は、松本市の花いっぱい運動が全国のけん引役となっており、この運動にも触発され機運が盛り上がりました。

公共花壇に取り組む

会員として活動を支えているのは、公共の場で緑化活動に取り組む地域のボランティアグループや団体・企業・個人。会員合計は48です。

このネットワークは、数十人規模の大きな団体、長年にわたり地域の公共花壇を育てているグループなど、さまざまです。

発展と持続をめざして

当初は、共同購入により、安価で多くの花苗を調達していました。その後、活動の発展と持続を目指して自分たちで花苗を作ることにしました。およそ1か月の間、会員が交代で水やりをし、花苗を成長させます。花壇を1年間維持するために、花苗を植え替える作業は、春と秋の二回必要です。現在は、3万株程度を育てています。

知識や技術を向上させながら

花壇を維持していくために、全国都市緑化フェアや著名なガーデンの見学、講師を招いての講座など、知識と技術を向上させながら活動を継続しています。市内各所の公共花壇は、こうしたメンバーの努力によって維持されています。

緑育の担い手として

緑に関する普及啓発や人材育成事業等を行い、緑と親しむ文化や人を育む「緑育」は、長野市が提唱する活動です。

この言葉が生まれる前から活動している「長野市緑と花いっぱいの会」は、緑育の担い手として期待されています。また、多くの会員グループは、一緒に花壇を育てるメンバーを、現在、募集中です。

みんながネットワーク

このかわらばんは「信州ふれあいネット」のご好意で市の地域へボランティアで配布していただいています。

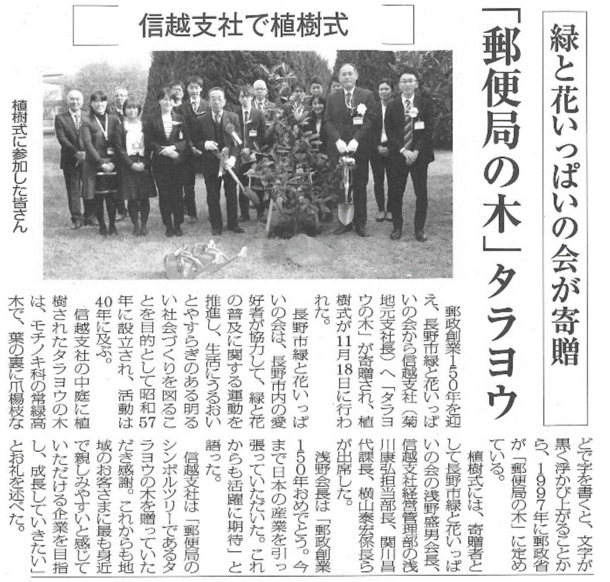
「ボランティアかわらばん」は共同募金のご協力で発行しています。

表紙題字：青木孝子さん

「ボランティアかわらばん」は、長野市社会福祉協議会のホームページで見られます。
https://www.csw-naganocity.or.jp/page-gs/service/nvc/kawaraban

・「ゼロカーボン長野プログラム」
　グリーンインフラ体験コーナー

・郵政創業１５０周年記念植樹



信越支社で植樹式

緑と花いっぱいの会が寄贈

「郵便局の木」タラヨウ

植樹式に参加した皆さん

郵政創業150年を迎え、長野市緑と花いっぱいの会から信越支社（菊地元支社長）へ「タラヨウの木」が寄贈され、植樹式が11月18日に行われた。

長野市緑と花いっぱいの会は、長野市内の愛好者が協力して、緑と花の普及に関する運動を推進し、生活にうるおいとやすらぎのある明るい社会づくりを図ることを目的として昭和57年に設立され、活動は40年に及ぶ。

信越支社の中庭に植樹されたタラヨウの木は、モチノキ科の常緑高木で、葉の裏に爪楊枝などで字を書くと、文字が黒く浮かび上がることから、1997年に郵政省が「郵便局の木」に定めている。

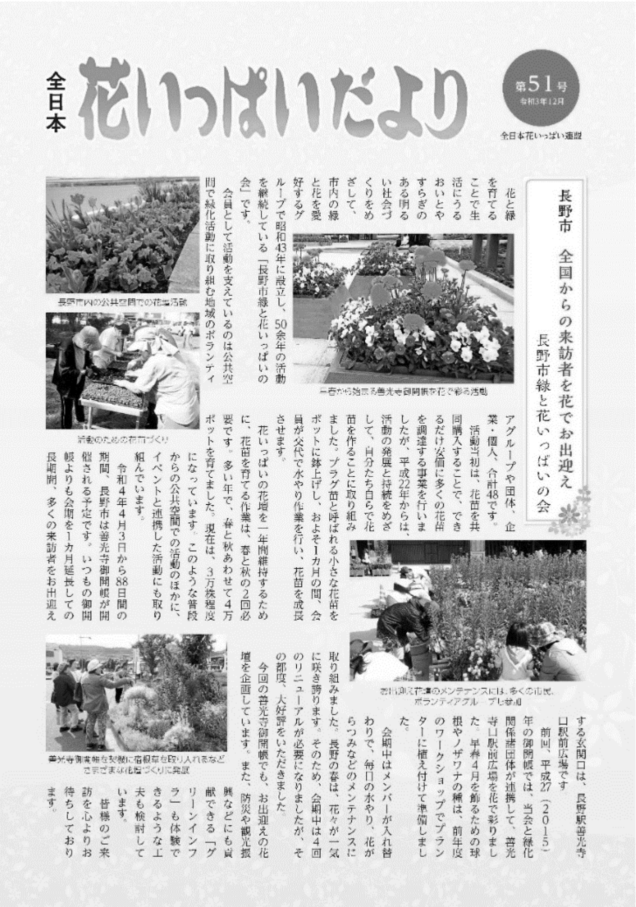
植樹式には、寄贈者として長野市緑と花いっぱいの会の浅野盛男会長、信越支社経営管理部の浅川康弘担当部長、関川昌代課長、横山泰宏係長らが出席した。

浅野会長は「郵政創業150年おめでとう。今まで日本の産業を引っ張っていただいた。これからも活躍に期待」と語った。

信越支社は「郵便局のシンボルツリーであるタラヨウの木を贈っていただき感謝。これからも地域のお客さまに最も身近で親しみやすいと感じていただける企業を目指し、成長していきたい」とお礼を述べた。

通信文化新報　2022 年 1 月 24 日　記事

・「全日本花いっぱいだより」第５１号



全日本 花いっぱいだより

第51号
令和3年12月

全日本花いっぱい連盟

長野市　全国からの来訪者を花でお出迎え

長野市緑と花いっぱいの会

花と緑を育てることで生活にうるおいとやすらぎのある明るい社会づくりをめざして、市内の緑と花を愛好するグループで昭和43年に設立し、50余年の活動を継続している「長野市緑と花いっぱいの会」です。

会員として活動を支えているのは公共空間で緑化活動に取り組む地域のボランティアグループや団体、企業・個人、合計48です。

活動当初は、花苗を共同購入することで、できるだけ安価に多くの花苗を調達する事業を行いましたが、平成22年からは、活動の発展と持続をめざして、自分たち自らで花苗を作ることに取り組みました。プラグ苗と呼ばれる小さな花苗をポットに鉢上げし、およそ1カ月の間、会員が交代で水やり作業を行い、花苗を成長させます。

花いっぱいの花壇を一年間維持するために、花苗を育てる作業は、春と秋の2回必要です。多い年で、春と秋あわせて4万ポットを育てました。現在は、3万株程度になっています。このような普段からの公共空間での活動のほかに、イベントと連携した活動にも取り組んでいます。

令和4年4月3日から88日間の期間、長野市は善光寺御開帳が開催される予定です。いつもの御開帳よりも会期を1カ月延長しての長期間、多くの来訪者をお出迎えする玄関口は、長野駅善光寺口駅前広場です

前回、平成27（2015）年の御開帳では、当会と緑化関係諸団体が連携して、善光寺口駅前広場を花で彩りました。早春4月を飾るための球根やノザワナの種は、前年度のワークショップでプランターに植え付けて準備しました。

会期中はメンバーが入れ替わりで、毎日の水やり、花がらつみなどのメンテナンスに取り組みました。長野の春は、花々が一気に咲き誇ります。そのため、会期中は4回のリニューアルが必要になりましたが、その都度、大好評をいただきました。

今回の善光寺御開帳でも、お出迎えの花壇を企画しています。また、防災や観光振興などにも貢献できる「グリーンインフラ」も体験できるような工夫も検討しています。

皆様のご来訪を心よりお待ちしております。

長野市内の公共空間での花壇活動

活動のための花苗づくり

早春から始まる善光寺御開帳を花で彩る活動

お出迎え花壇のメンテナンスには、多くの市民、ボランティアグループも参加

善光寺御開帳を契機に宿根草を取り入れるなどさまざまな花壇づくりに発展

「全日本花いっぱいだより」は、街を花いっぱいにする会事務局のホームページで見られます。
　　http://hanaippai.info/img/hana51.pdf